

## 環境報告書をご存じですか？

環境報告書は、事業者が環境負荷及び配慮等の取組状況について公表するものです。本学では、環境配慮促進法等に基づき、2006年度から毎年作成しています。

詳しくは➡ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/kankyo/index.html>

本紙「HU-eco」は、環境報告書の一部を紹介しつつ、大学としての環境配慮活動へのご理解とご協力を、構成員のみなさまにお願いするための広報誌です。

## 環境報告書2013版の内容 (2012年度の実績報告)

- 学長ステートメント：本学における環境配慮行動についての考え方
- 広島大学基本理念・環境基本理念・行動方針
- 環境管理体制
- 2012年度の目標と実績
- ◇本学における環境教育（その一部を紹介）
  - 教養教育／工学部・工学研究科／教育学部・教育学研究科／附属中・高等学校
- ◇環境研究（その一部を紹介）
- ◇社会貢献・国際貢献・学生活動（その一部を紹介）
- ◇キャンパスの自然環境
- ◇環境負荷削減の取り組みと実績
- ◇環境リスク低減の取り組みと実績
- ◇環境に関する規制等の順守状況
- ◇環境報告ガイドライン（2012）との対照表
- 第三者コメント・環境活動評価委員会コメント
- キャンパスマップ，編集後記



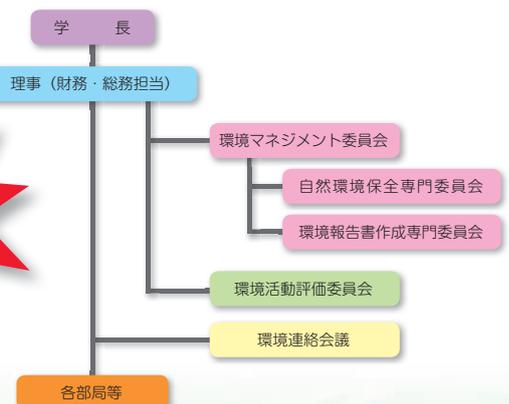
東広島キャンパスの自然環境管理実習

## 2013年度の環境目標

- ◆環境教育の推進
  - \* 環境・安全教育の全学実施
  - \* 教養教育，専門教育等を通じた環境意識の醸成
- ◆環境研究の推進
  - \* 環境研究の連携強化と促進
- ◆社会貢献の推進
  - \* 地域社会・市民と連携した環境保全活動の推進
  - \* 地域社会の環境問題解決に向けた取り組みの推進
  - \* 学校教育から生涯学習までの地域環境教育への貢献
- ◆自然環境の保全・活用
  - \* キャンパスの自然環境の管理・保全
  - \* キャンパスの自然環境の活用
- ◆資源の有効利用の推進
  - \* エネルギー使用原単位の削減
    - 2012年度比1%削減
    - 中期目標の達成（2008年度比5%削減）
  - \* 水使用量の削減と資源化の促進
    - 水使用量の削減（2008年度実績より減）
    - 水再利用の促進
  - \* 廃棄物の削減と資源化の推進
    - 資源化促進による可燃ごみ排出量の削減（中期目標の達成（2008年度比20%削減））
  - \* コピー用紙購入量の削減
    - 2012年度実績より減

**ここがポイント!!**  
 2012年度に未達成の課題  
※次のページで詳しく解説しています。

## 本学の環境管理体制



# 環境に配慮した活動をしよう

## — ごみの削減とリサイクル —

※詳しくは、環境報告書の p.29～32 参照

### 2012年度の環境目標と実績

	項目	2012年度目標値	2012年度活動実績
水	水使用量の削減	2008年度実績より削減	<b>8.3%減</b> (2008年度比)
	資源化の促進	水再利用の促進	<b>18.0%</b> (対上水使用量比)
可燃ごみ	資源化促進による可燃ごみ排出量の削減	前年度比 <b>15%削減</b>	<b>8.3%減</b> (2011年度比)
		2013年度までに <b>20%削減</b> (2008年度比)	<b>1.7%減</b> (2008年度比)
紙	コピー用紙購入量	前年度比 <b>100%以下</b>	<b>96.3%</b> (2011年度比)
	古紙回収の促進	回収率 <b>50%</b>	<b>55.9%</b>



学生プラザに設置されたリサイクルBOX

### ごみの削減とリサイクル

#### 混ぜればごみ、分ければ資源

の言葉通り、ごみは出す人がきちんと分別すれば、資源として再利用することができます。

#### 研究室や事務室に分別BOXを設置し、分別し易い環境を作りましょう!!

分別すればリサイクル可能な紙（封筒類、紙袋、包装紙、菓子箱など）が、**可燃ごみ**として出されています。可燃ごみを減らし、資源を有効活用するためには、**ごみ分別の徹底**が重要です。

#### 広島大学で出たごみは、

- 一般廃棄物排出量（全学） **約850t**
- 可燃ごみ（2011年度比） **13.4t 削減**
- ペットボトル回収量 32,997kg/年⇒**約2,260本/日**
- ペットボトルキャップ回収量 73.4kg ⇒ **ワクチン36.7人分寄付**  
(東広島キャンパス 2012年8～12月実績)

2012年度

ひろくまポイント!!



広島大学節電大使「ひろくまくん」

あまり知られていませんが・・・  
封筒類、紙袋、包装紙、菓子箱などは、**雑誌類**として回収しています。

- 東広島キャンパスでは、経費削減の観点から、2012年10月以降、機密文書はシュレッダー処理して破砕紙としてリサイクルしています。
- 霞・東広島キャンパスでは、ペットボトルのキャップを回収し、世界の子供にワクチンを届けるNPO法人の活動に協力しています。

皆様のご協力をお願いします

### 学生環境サポーター

今年度から、次のような活動を開始しました。

- キャンパス自然発見ツアー
- 東広島市主催の清掃活動
- キャンパス植生調査
- 福島ひまわり里親プロジェクトへの参加
- 学童保育における環境教育 等

今後、植生調査、省エネパトロールなどを計画中です。

一緒に本学の環境配慮活動の企画・運営に参加する学生を募集しています!!

\*現在15名で活動中!



キャンパスの植生調査を実施中

\*詳しくは下記 URL をご覧ください。

広島大学 HP > 大学案内 > 環境への取り組み > 学生環境サポーター  
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/kankyo/kankyosupporter/>

#### <問い合わせ先>

財務・総務室総務グループ  
TEL: 082-424-5265  
E-mail: risk@office.hiroshima-u.ac.jp

# 全学をあげて省エネに取り組もう

## — エネルギー消費削減と省エネルギーへの取り組み —

※詳しくは、環境報告書の p.27, 28, 31, 32参照

### 2012年度の環境目標と実績

エネルギー消費はその年の天候に大きく左右されます。

ひろくまポイント!!



広島大学節電大使「ひろくまくん」

項目	2012年度目標値	2012年度活動実績
エネルギー使用原単位*の削減	前年度比 <b>1%削減</b>	<b>0.47%減</b> (2011年度比) → <b>未達成(残念!)</b>
	2013年度までに <b>5%削減</b> (2008年度…基準年)	<b>4.8%減</b> (2008年度比) → <b>あと少し!(がんばろう!)</b>

※エネルギー使用原単位：各エネルギー（電気・ガス・重油）消費量を原油換算し、対象建物の延べ面積で除した値

使用していない照明、パソコン、エアコンの電源をこまめに切るなどのちょっとした気遣いはもちろん重要ですが、古い冷蔵庫やエアコンを新しいもの買い替えると電力消費量が大きく減少します。

### 全学エネルギー消費状況

広島大学で使っているエネルギーは、

- 全学エネルギー消費量(熱量換算) **977,400GJ/年** (※1 約98,000MWh/年)  
⇒ 構成員※2 1人1日当たり **116.5MJ/人/日** (約12kWh)  
例えると一般の電気ポット(500W)を24時間連続使用する場合と同じになります。
- 全学 CO<sub>2</sub>排出量 **63,919t-CO<sub>2</sub>**

※1 省エネ法による電力量換算値

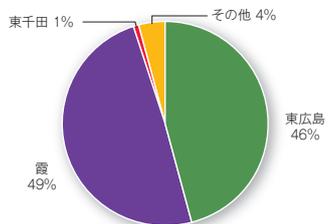
※2 構成員：全学の教職員と学生、生徒、児童、園児の総数(約22,960人)

2012年度

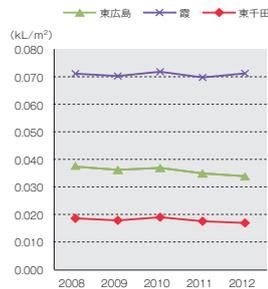
CO<sub>2</sub>排出量の多い順  
国立大学法人ランキング  
(環境省のデータから独自に作成)

- 1位 東京大学
- 2位 東北大学
- 3位 京都大学
- ...
- 8位 **広島大学**

広島大学は8位!



2012年度の全学地区別 CO<sub>2</sub>排出量割合  
※豊キャンパスは病院を含む。



エネルギー使用原単位年度推移

CO<sub>2</sub>排出量の多い順  
広島県内に主な事業所を持つ事業者ランキング  
(環境省のデータから独自に作成)

- 1位 中国電力株式会社
- 2位 株式会社 JFE サンソセンター
- 3位 マツダ株式会社
- ...
- 20位 **広島大学**

広島大学はなんと20位!

### 省エネの取り組み

#### 施設・設備面

- 現在、全学で大小合わせて12基の**太陽光発電設備**が稼働、年間約19万 kWh を発電し、電力消費量の削減を図っています。今後も建物の新築や大規模な建物改修の際、計画的に導入する予定です。
- 建物の屋上及び外壁の**断熱・緑化対策**、**一般照明器具の省エネ対応**、**空調設備の更新**などを行い、環境負荷の削減に努めています。

#### その他

- エネルギー消費の多い夏季・冬季に**学内省エネパトロール**や**ポスター掲示**による構成員への省エネの啓発活動を行っています。
- 東広島キャンパスでは、夏季と冬季に**ピークカット(最大需要電力の抑制) トライアル**に努めています。

#### トピックス

#### 電力契約の不思議 — 30分間の節電で大きな経費削減 —

本学の電気料金※1の契約方式は、一般家庭と異なり、最大需要電力※2によって、電気料金が決まります。

つまり、電力消費が集中する時期(夏季7月下旬、オープンキャンパス時、冬季厳冬時期)に、**たった30分間の電力消費が現在の最大需要電力(契約電力)を超えただけで、1年間の電気料金が上がります。**

そこで、最大需要電力を超えないように、ピークカットトライアルをお願いしています。実際にみなさんのご協力のおかげで、平成24年度は、平成23年度の契約電力より800kW低減できたので、なんと約**1,300万円も経費削減ができました。**

※1 電気料金：最大需要電力による基本料金と季節別及び時間帯別の使用量料金の合計

※2 最大需要電力(デマンド値、契約電力値)：1事業所において任意の30分間での使用電力の平均の最大値(kW)

皆様のご理解と  
ご協力をお願いします

# キャンパスは「まるごと博物館」

## — キャンパスの自然環境の保全と活用 —

※詳しくは、環境報告書の p.23～26参照

### 東広島キャンパスの豊かな自然環境

東広島キャンパスは、1年を通じて絶滅危惧種30種類以上を含む、多種多様な生物と出会うことのできる全国に誇れる自然環境を維持しています。広島大学総合博物館では、このような自然環境を展示物にとらえ、「発見の小径」（散歩道）を整備することで、広く公開保全しています。博物館本館と専門的な展示であるサテライト館がこの「発見の小径」で繋がることで、「キャンパスをまるごと展示するエコ・ミュージアム」として機能しています。学術的にも教育的にも非常に価値のある自然環境ですが、希少種の生息地の消滅（駐輪場や畑に改変）や外来種の持ち込みによる在来種の駆逐や希少種の密漁など問題も数多く抱えています。このような希少な自然環境を保全するために、本学では環境目標を立て環境管理ゾーニングにより、積極的にその保全を図っています。みなさんの積極的な参加と協力をお願いします。

### 2012年度環境目標と実績

環境目標	主な活動実績
東広島キャンパスに生息する動植物の生息環境の管理	・陣が平山の整備を行い、里山環境の継続管理を実施 ・ふれあいピオトープの草刈り・整備を実施 ・野鳥保護のための草刈り作業・立て看板設置及び広報誌等でのPRを実施
キャンパスの自然環境を活用した環境教育の実施	・総合博物館による「フィールドナビ」を実施 ・スポーツ実習教育・野外観察において土質層位区分等の土壌観察を実施 ・ピオトープを活用した親子観察会を実施 ・園児・児童の農場見学や動物と触れ合う体験を通して環境教育を実施
キャンパスの自然環境の保全	・植物管理室によるキャンパス内の植生管理を実施 ・樹木の剪定及び害虫駆除を実施 ・自然環境保全に関する検討WGを設置し、実態把握と課題検討を実施



フィールドナビの様子

\*昨年度の博物館来館者数：10,833人、  
「発見の小径」利用者（教養ゼミ）：507人、  
フィールドナビ参加者数：240人/5回

### 東広島キャンパスの環境管理：ゾーニングと注目ポイント

東広島キャンパスは約250haの広大な敷地の中に、山林、ため池、溪流など多様な環境を含んでおり、そこには多様な動植物が生息しています。

大学に必要な機能・利便性を確保しながら豊かな自然と共生していくため、本学では、「自然区」「半自然区」「管理区」の利用目的と環境特性に応じたゾーニング管理を実施しています。

#### トピックス キャンパスの外来種

キャンパス内では、特定外来種に指定されているウシガエル、ブルーギル、オオクチバス、オオキンケイギク、要注意外来種に指定されているアメリカザリガニ、オオカナダモなどが侵入定着しています。在来種に甚大な危害を加え大きな問題となっています。



図の説明：  
アメリカザリガニにより、尾と後肢を失ったアカハライモリ

